１　調査の目的

本調査は、「富士まつり」・「市営駐輪場の利用」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

２　調査の内容

「富士まつり」・「市営駐輪場の利用」について

３　調査の設計

（１）調査地域　　富士市全域
（２）調査対象　　富士市在住の満18歳以上80歳未満の市民
（３）標本数　　3,000人
（４）抽出方法　　住民基本台帳から無作為抽出
（５）調査方法　　郵送配布 － 郵送回答またはインターネット回答
（６）調査期間　　令和８年６月９日～７月２日
（７）調査機関　　株式会社トムス

４　回収結果

（１）発送数　　3,000人（100.0%）
（２）回収数　　1,696人（56.5%）
　　【内訳】郵送回答：931人（31.0%）
　　インターネット回答：765人（25.5%）
（３）有効回収数　1,693人（56.4%）
　　【内訳】郵送回答：928人（30.9%）
　　インターネット回答：765人（25.5%）

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数。

５　居住地区別回収率

居住地区	発送数（人）	有効回収数（人）	有効回収率（%）
吉原	108	61	56.5
伝法	157	99	63.1
今泉	118	81	68.6
神戸	52	29	55.8
広見	142	65	45.8
青葉台	132	41	31.1
大淵	122	78	63.9
富士見台	46	34	73.9
原田	49	33	67.3
吉永	55	32	58.2
吉永北	19	8	42.1
須津	106	59	55.7
浮島	8	7	87.5
元吉原	81	46	56.8
富士駅北	150	87	58.0
富士北	124	79	63.7
富士駅南	180	116	64.4
田子浦	183	94	51.4
富士南	288	158	54.9
岩松	156	96	61.5
岩松北	147	70	47.6
鷹岡	166	84	50.6
丘	200	102	51.0
天間	83	47	56.6
富士川	57	37	64.9
松野	70	37	52.9
他地区※	1	0	0.0
分からない	―	―	-
無回答	―	13	-
合　計	3,000	1,693	56.4

※地区の狭間に位置する世帯等

６　報告書を読む際の注意事項

1　各設問の表の中や欄外に記載した回答割合の比率はすべて百分比で表し、小数第２位を四捨五入している。このため、百分比の合計が100%にならないことや、複数の合計が合わないことがある。

2　基数となるべき回答者数はｎと表示し、回答比率はこれを100%として算出した。

3　１つの質問に２つ以上回答できる設問の場合は、百分比の合計が100%を超える場合がある。

4　選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。

5　分析の軸にある性別は、「その他」の件数が少ないため、グラフへの掲載は省略している（「その他」の回答割合は、175ページ以降の『Ⅵ　結果の数表』を参照）。また、年代は10代の件数が少ないため、20代とまとめて「20代以下」としている。

6　回答者数の少ない設問は、表のみの掲載とし、コメントは割愛している。

7　分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

独身期	18～39歳の未婚者
家族形成期	第一子が未就学児、または40歳未満の夫妻のみ
家族成長前期	第一子が小・中学生
家族成長後期	第一子が高校生・予備校生・大学受験生・短大・高専・大学・大学院・専門学校などの学生
家族成熟期	第一子が学校教育終了
老齢期	60歳以上の人

※　家族形成期～家族成熟期はいずれも60歳未満とし、60歳以上は老齢期に分類した。40代・50代の未婚者、40代・50代の夫妻のみなど、分類されていない層がある。

８　この調査は、無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$\varepsilon = 2\sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差
n：標本の大きさ
P：回答比率

回答者総数（1,693人）を100％とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50％であるとすると、母集団（18歳以上80歳未満の富士市民全体）の回答比率は47.57％～52.43％の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50％	±2.43％
60％または40％	±2.38％
70％または30％	±2.23％
80％または20％	±1.94％
90％または10％	±1.46％